

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers

第6号(2012.3.13)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

「総合学習の現在とこれから」について

教育支援センター主催「教育について考えるシンポジウム等」に採択され、7月と1月の2回にわたって行われた「パネルディスカッション 総合学習の現在とこれから—私たちが学んだこと、言いたいこと—」についてご紹介します。このパネルディスカッションは、環境教育実践センターと教育支援センターの教員が協同で開催しました。

この催しの開催目的は、学校教育における「総合的な学習の時間」の開始からおよそ10年になろうとしている今日、あらためてその魅力と課題について意見交換することを通して、今後の展望を探ることにありました。本学教育学部で開講されている講義「総合的な学習の研究」(担当:岡本正志、樋口とみ子)の成果を踏まえて実施しました。

パネルディスカッションでは、教育学部の受講生のなかから、それぞれ3名に登壇してもらい、各自が考える「総合的な学習の時間」の魅力と課題を話してもらいました。たとえば、「総合的な学習の時間」と教科との関連や、テーマ設定の難しさ、評価の問題などをめぐって、本質的な論点を提示してくれました。

また、教育支援センターの竹花裕子先生には、公立小学校の実践現場での取り組みの様子を、具体的な事例を踏まえてお話しいただきました。子どもたちの生き生きとした様子が伝わってくるとともに、その背後にある先生方の取り組みの重要性についても、大変わかりやすく具体的にご指摘いただきました。

その後の議論では、「総合的な学習の時間」が単なる調べ学習にならないためにはどうしたらよいか、テーマ設定にあたって重要になるのはどのようなことなのか、などをめぐって意見が出されました。今後の「総合的な学習の時間」のあり方を考えていく上で、重要な視点を見出すことができたように思われます。

お越しいただき、ご意見をいただきました先生方、ありがとうございました。

(文責 樋口とみ子)

「人権に基づく性教育」シリーズについて

教育支援センターでは、性を人権としてとらえ、より多様な性的幸福を達成するために、「人権に基づく性教育」シリーズを企画実施してきました。1月28日(土)には本年度ラストとなる第5回のイベントをキャンパスプラザにおいて総勢21名の参加で実施しました。

テーマは「これまでの性教育実践を見つめ直す」～若者の声から～、本学学生院生4人を含む7人の若者にゲストスピーカーとして自分たちが小中高と受けてきた性教育について語ってもらいました。やはり人権に基づく性教育が不足していて、かろうじて覚えている内容も「自分のことと思えなかった」として他人事として恥ずかしい思いだけが残ったということが共通して語られました。教える側の教員の研修が不足していることによる弊害で、これからも活きた研鑽の必要性を確認しました。

京都教育大学協賛イベント 一第21回近畿セミナーのご案内一

メインテーマ「“つながり”を育てる性教育～子どもたちの関係性を今、見つめ直そう～

主催 京都“人間と性”教育研究協議会・性教協近畿連絡協議会 協賛 京都教育大学

日時: 2012年3月18日(日) 9:30 受付開始 10:00 ~ 16:30

場所: 京都教育大学 C棟

内容: 記念講演 10:00~12:00 (C棟2階大会議室)

「いのち・平和と原子力」 安齋 育郎さん(立命館大学名誉教授)

性と生の原点である、いのちの尊厳と平和をまもるために、原子力・核のこれまでとこれからをお話していただきます。

分科会 13:30~16:00 小中高など種別に6会場

申し込み等詳細は、性教協HP (http://seikyokyo.org/circle/kinki_semi/index.html)にある第21回近畿セミナーをクリックすると見られます。

[このイベントは京教大学生院生教職員は身分証提示で無料です。](#)



留学生と地域住民との交流プログラム

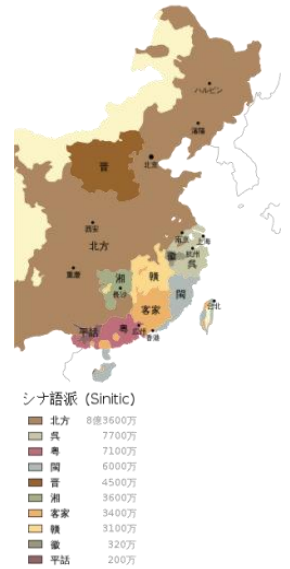


1月25日(水)に、「中国標準語と上海方言について」というテーマで、庄俊(しょうしゅん)さんにお話を伺いました。

「標準語」という言語でも国を統一している中国ですが、地域により様々な言語が存在します。標準語は北京語を基礎として作られた言語です。そのためか、標準語と上海語とは「中国語」と一括りに出来ないほど違うそうです。

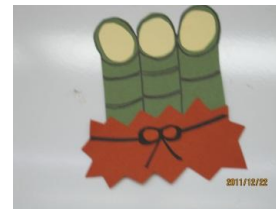
上海の学校では、授業は全て標準語で行われ、学校内では上海語は禁止されています。しかし、固有の文化も重要であると提唱する人々も現れ、上海語辞典も著されたそうです。

巻舌音がなく、高低アクセントも日本語に近い上海語。上海が身近に感じられるようになりました。



留学生交流演習室の board deco

教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室の壁面を、本学幼児教育学科のみなさんに作成してもらいました。今回は、1月と3月の壁紙を紹介します。



1月の貼り絵は、今年の干支の竜に乗ったウサギとクマがかわいいですね。3月はお花がいっぱいで虫も出てきて、春を感じますね。幼児教育学科のみなさん、ありがとうございます。

入退出自由の部屋ですので、お気軽にお越しいただき、月毎の季節にあった飾りを、ぜひご覧ください。

教育支援センター スタッフ

センター長 (併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
特任教員(京都市教育委員会)	桶谷 守	075-644-8214	oketani@
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@
事務補佐員 留学生・地域交流演習室	(16時15分-17時15分) 鄭紫薇 (月・火・木) 李琳 (水・金)		

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

